



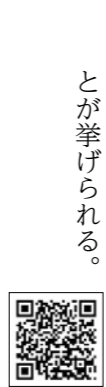
**プログラミング教育**  
ぐんま緑の県民基金事業  
長壁 真樹  
(新風会)

**質問** 本市のプログラミング教育の取り組み状況は。



**回答** プログラミング教育は平成32年度から必修となる。これを受け、プログラミングに先進的な取り組みをしている小学校で、子どもたちの論理的思考力を育むことを意図した授業研究会を実施し、各学校へ準備を促している。今後も国の動向を踏まえながら、各校で役立つ情報の提供を積極的に進めたい。

**質問** ぐんま緑の県民基金事業が本市の事業に多く活用されているが、課題と効果は。



**回答** 竹林や里山林の整備後、維持管理を行う地域ボランティアの人員不足や、林地の所有者特定に時間を要するといった課題がある。効果としては、基金事業により安定的な支援が受けられることで、これまで放置されていた竹林の整備に継続的に取り組めることや林業体験など子どもたちの環境への理解が深められることが挙げられる。



**中小企業の支援**  
子どもの紫外線対策  
後藤 彰  
(新風会)

**質問** 本市の製造業を支える中小企業に対し、さらなる支援策を検討できないか。

**回答** 中小企業アドバイザー導入事業補助金の制度があり、利用企業からは、企業の強みを把握した上で中長期的な視点や市場調査に基づいた新規事業の可能性評価等の成果が得られたという報告もある。これまでの

の事例を含め、より効果的な支援を研究していきたい。

**質問** 有害紫外線から子ども目を保護するには、サングラスが簡単で有効とされている。本市の学校でのサングラス導入の考えは。

**回答** 屋外活動や登下校の紫外線対策としてサングラスを導入している市町村は県内にはない。一方で、最



**新たな交通弱者対策**  
世界の記憶登録後の施策  
清水 明夫  
(新風会)

**質問** 交通弱者の移動支援のため、デイスサービス送迎車の空席を利用する取り組みがあるが、本市の考えは。

**回答** 現在、倉淵地域高齢者買い物支援事業、高齢者向け買い物支援タクシーチケット交付事業を実施しているが、交通弱者対策として十分ではないと認識している。介護事業者との連携は送迎車両を所有する事業者の考えや利用状況もあり、研究課題と認識している。

**質問** 上野三碑が世界の記憶に登録されたが、民間団体に登録されたが、民間団体のこれまでの動きと本市との連携は。

**回答** 民間団体は、現在、上野三碑ボランティア会、山上碑・金井沢碑を愛する会、上野三碑をつなぐ会がある。案内解説や環境美化活動、地域住民向け学習会、PR動画の作成、鉄道会社と共催による上野三碑ハイキングの実施などの活動を展開している。本市では、登録が実現した今、こうした民間団体と協力、連携していくことが重要と考えている。



**国の教育負担軽減方針**  
オアシス高崎の1階  
木暮 孝夫  
(公明党)

**質問** 国において、幼児教育の無償化をはじめとする教育費の負担軽減の方針が出されたが、本市ではどのように受け止めているのか。

**回答** 現在、方針内容の詳細が明らかになっていないため、正確な情報収集に努めている段階である。国の動向を注視し、無償化後の入所状況の影響や本市の財

政負担など想定される課題を検討しながら、環境整備に向け適切に対応したい。

**質問** 本年4月オープンしたオアシス高崎は、高崎オーパと中央銀座アーケードの中間に位置している。1階はまちなか回遊の仕掛けとなる集会所として活用が期待されているが、現状は。

**回答** まちなか回遊の中継

適な紫外線量には個人差があることなどが指摘されている。今後も紫外線対策を考慮していく必要があるが、環境省のマニュアルでは逆



**高齢者の生活支援**  
伊藤 敦博  
(日本共産党)

**質問** 年金の切り下げや保険料、医療費の負担が増えている中で、本市の高齢者数と収入状況は。また、高齢者が抱える生活の不安をどのように捉えているのか。

**回答** 本市の65歳以上の高齢者数は、9万9593人である。このうち、収入が少ない状況の市民税非課税の人が約31%である。また、本年度のひとり暮らし高齢者基礎調査によると、健康

面や体調を崩した時に不安を感じる人が多いとの結果が出ている。

**質問** 本市の高齢者の生活支援策と支援充実の課題は。

**回答** 市独自のサービスとして、高齢者等あんしん見守りシステムやはいかい高齢者支援システムなどがある。また、高齢者の買い物支援策や介護軽減を目的とした介護SOSサービスも実施している。高齢者が生きがいを持って生活できる施策を検討していくことが課題であり、今後も高齢者に寄り添った事業を展開していきたい。



介護SOS緊急訪問サービス



**タクシー業界との連携システム**  
木村 純章  
(市民クラブ)

**質問** 本市の陣痛タクシーの導入状況は。

**回答** 市内では4事業者が陣痛時だけでなく妊娠中の健診時にも利用できる妊婦応援タクシーの名称で営業している。かかりつけ医などの情報を事前に登録することで迅速に配車されるサービスであり、市も周知に努めていきたい。

**質問** 高齢者の免許返納も含め、市民の足としてタクシーを活用していくべきと考えるが、市の考えは。

**回答** タクシーを移動支援



**若年性認知症の取り組み**  
インフルエンザ対策  
堀口 順  
(市民クラブ)

**質問** 若年性認知症は、社会での認知不足に加え、発症すると経済的な問題にも直面しやすい。本市の対策は。

**回答** 若年性認知症患者は、生計を担う年代の発症であることから、経済的な問題が大きいため、就労などのさまざまな支援を行う必要がある。来年度開設する障害者支援SOSセンターでも悩みに対応し医療機関な

いることから、福祉や子育て環境の充実へ方向転換したいと考えており、早急に検討を進めたい。

**質問** 今シーズンのインフルエンザワクチン不足に対する本市の対応は。

**回答** 例年10月初めから12月末までの期間で高齢者のインフルエンザ予防接種の一部助成を行っているが、ことしのワクチンの供給遅れに対し、助成期間を1カ月延長し1月末までとした。



プラカードを持つ中学生



**高崎マルシェ等支援事業**  
国際スポーツイベント開催  
根岸 赴夫  
(新風会)

**質問** 高崎オーパに本市が設置した高崎じまんと関連したかさき食堂の売上状況は。

**回答** オープンした10月には、高崎じまんで、どちら焼きが約4000個、まんじゅうが約700個、食パンが約600個売れるなど、人気商品も出始めている。開運たかさき食堂本店は、パスタが約1200食売れるなど好評である。いずれの店も売り上げは順調に推移している。

**質問** 高崎アリーナで開催された国際大会での市民の

問題解決能力やプログラミングの思考を育むことを狙いとして、コンピューターに意図した処理を行うよう指示するために使われるプログラムを学ぶ教育のこと。

家族や介護者の介護負担の軽減と、介護が原因による離職防止を目的として、緊急時に対応した介護サービス（緊急訪問サービス及び緊急宿泊サービス）のこと。